



誰もが住んでみたい村に
農業農村整備

令和6年度

西国東海岸保全事業

河川堤他実施設計業務

積 算 書

(当初)

九州農政局
西国東海岸保全事業所

[illegible]

九州農政局

九州農政局

九州農政局

九州農政局

九州農政局

事業名	西国東海岸保全事業
業務名	河川堤他実施設計業務

名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
直接人件費				19,488,000	
・直接人件費	1.000	式		19,488,000	
・・・ 1. 準備作業	1.000	式		18,847,000	
S63007 1-1. 現地調査	1.000	式	470,000	470,000	1 式当たり
S63003 1-2. 資料の検討	1.000	式	169,000	169,000	歩A・単A S単 18号
	1.000	式	300,600	300,600	歩A・単A S単 1号
合 計				469,600	
・・・ 2. 設計計画 (3断面)	1.000	式	5,464,000	5,464,000	1 式当たり
S63003 2-1. 基本条件の整理・検討	1.000	式	1,231,000	1,231,000	歩A・単A S単 2号
S63003 2-2. 検討代表断面の設定	1.000	式	321,500	321,500	歩A・単A S単 3号
S63003 2-3. 沈下特性の計算	1.000	式	785,600	785,600	歩A・単A S単 4号
S63003 2-4. 堤防の安定性照査	1.000	式	2,095,800	2,095,800	歩A・単A S単 5号
S63003 2-5. 堤防施工断面の決定	1.000	式	293,000	293,000	歩A・単A S単 6号
S63003 2-6. 附帯工の検討	1.000	式	737,400	737,400	歩A・単A S単 7号
合 計				5,464,300	
・・・ 3. 耐震性能照査	1.000	式	6,898,000	6,898,000	1 式当たり
S63003 3-1. 動的有効応力解析	1.000	式	6,480,800	6,480,800	歩A・単A S単 8号
S63003 3-2. 耐震性能の評価	1.000	式	417,200	417,200	歩A・単A S単 9号
合 計				6,898,000	
・・・ 4. 設計図作成等	1.000	式	4,625,000	4,625,000	1 式当たり
S63003 4-1. 設計図作成	1.000	式	1,539,200	1,539,200	歩A・単A S単 10号
S63003 4-2. 数量計算	1.000	式	851,600	851,600	歩A・単A S単 11号
S63003 4-3. 施工計画の作成	1.000	式	1,400,000	1,400,000	歩A・単A S単 12号
S63003 4-4. 概算工事費の算出	1.000	式	834,400	834,400	歩A・単A S単 13号
合 計				4,625,200	
・・・ 5. 直轄海岸保全施設検討委員会資料の作成	1.000	式	665,000	665,000	1 式当たり
S63003 直轄海岸保全施設検討委員会資料の作成	1.000	式	665,400	665,400	歩A・単A S単 14号
合 計				665,400	
・・・ 6. 照査	1.000	式	130,000	130,000	1 式当たり
S63003 照査	1.000	式	129,600	129,600	歩A・単A S単 15号
合 計				129,600	
・・・ 7. 点検取りまとめ	1.000	式	595,000	595,000	1 式当たり
S63003 点検取りまとめ	1.000	式	594,800	594,800	歩A・単A S単 16号
合 計				594,800	
・・・ 直接人件費 打合せ	1.000	式		556,000	
・・・ 打合せ (設計)	1.000	式	556,000	556,000	1 式当たり

九州農政局

九州農政局

事業名	西国東海岸保全事業
業務名	河川堤他実施設計業務

コード	名 称 (規 格)	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
S63003	*** S単ー 1号 *** 1-2. 資料の検討					
	設計労務(直接人件費内業)		式	300,600		歩A・単A
S63003	*** S単ー 2号 *** 2-1. 基本条件の整理・検討					
	設計労務(直接人件費内業)		式	1,231,000		歩A・単A
S63003	*** S単ー 3号 *** 2-2. 検討代表断面の設定					
	設計労務(直接人件費内業)		式	321,500		歩A・単A
S63003	*** S単ー 4号 *** 2-3. 沈下特性の計算					
	設計労務(直接人件費内業)		式	785,600		歩A・単A
S63003	*** S単ー 5号 *** 2-4. 堤防の安定性照査					
	設計労務(直接人件費内業)		式	2,095,800		歩A・単A
S63003	*** S単ー 6号 *** 2-5. 堤防施工断面の決定					
	設計労務(直接人件費内業)		式	293,000		歩A・単A
S63003	*** S単ー 7号 *** 2-6. 附帯工の検討					
	設計労務(直接人件費内業)		式	737,400		歩A・単A
S63003	*** S単ー 8号 *** 3-1. 動的有効応力解析					
	設計労務(直接人件費内業)		式	6,480,800		歩A・単A
S63003	*** S単ー 9号 *** 3-2. 耐震性能の評価					
	設計労務(直接人件費内業)		式	417,200		歩A・単A
S63003	*** S単ー 10号 *** 4-1. 設計図作成					
	設計労務(直接人件費内業)		式	1,539,200		歩A・単A
S63003	*** S単ー 11号 *** 4-2. 数量計算					
	設計労務(直接人件費内業)		式	851,600		歩A・単A
S63003	*** S単ー 12号 *** 4-3. 施工計画の作成					
	設計労務(直接人件費内業)		式	1,400,000		歩A・単A
S63003	*** S単ー 13号 *** 4-4. 概算工事費の算出					
	設計労務(直接人件費内業)		式	834,400		歩A・単A
S63003	*** S単ー 14号 *** 直轄海岸保全施設検討委員会資料の作成					
	設計労務(直接人件費内業)		式	665,400		歩A・単A
S63003	*** S単ー 15号 *** 照査					
	設計労務(直接人件費内業)		式	129,600		歩A・単A
S63003	*** S単ー 16号 *** 点検取りまとめ					
	設計労務(直接人件費内業)		式	594,800		歩A・単A
S63003	*** S単ー 17号 *** 設計労務(直接人件費内業)					
	設計労務(直接人件費内業)		式	16,800		歩A・単A
S63007	*** S単ー 18号 *** 1-1. 現地調査					
	設計労務(直接人件費外業)		式	169,000		歩A・単A
S63007	*** S単ー 19号 *** 設計労務(直接人件費外業)					
	設計労務(直接人件費外業)		式	84,500		歩A・単A
S63010	*** S単ー 20号 *** 打合せ (設計業務基準日額)					
	打合せ (設計業務基準日額) 一般工種, 着手前・最終, 1.00人, 1.00人, 0.00人, 0.00人, 0.5日, 0.5日		回	121,800		歩A・単A
S63010	*** S単ー 21号 *** 打合せ (設計業務基準日額)					
	打合せ (設計業務基準日額) 一般工種, 中間, 0.00人, 1.00人, 1.00人, 0.00人, 0.5日, 0.5日		回	104,200		歩A・単A
S63011	*** S単ー 22号 *** 打合せ (設計旅費・交通費)					

九州農政局

事業名	西国東海岸保全事業
業務名	河川堤他実施設計業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S 単一 1号 ***					
S63003	1-2. 資料の検討		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	1.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	1.00人				
	5)技師Bの人数	1.50人				
	6)技師Cの人数	1.50人				
	7)技術員の数	1.50人				
R04003	主任技師					
		1.000	人	64,800	64,800	
R04004	技師 (A)					
		1.000	人	57,000	57,000	
R04005	技師 (B)					
		1.500	人	47,200	70,800	
R04006	技師 (C)					
		1.500	人	38,400	57,600	
R04007	技術員					
		1.500	人	33,600	50,400	
	合 計				300,600	算出数量 1,000 式
	単 価		式		300,600	
	*** S 単一 2号 ***					
S63003	2-1. 基本条件の整理・検討		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	3.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	7.00人				
	5)技師Bの人数	7.00人				
	6)技師Cの人数	8.00人				
	7)技術員の数	0.00人				
R04003	主任技師					
		3.000	人	64,800	194,400	
R04004	技師 (A)					
		7.000	人	57,000	399,000	
R04005	技師 (B)					
		7.000	人	47,200	330,400	
R04006	技師 (C)					
		8.000	人	38,400	307,200	
	合 計				1,231,000	算出数量 1,000 式
	単 価		式		1,231,000	
	*** S 単一 3号 ***					
S63003	2-2. 検討代表断面の設定		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	1.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	1.50人				
	5)技師Bの人数	2.00人				
	6)技師Cの人数	2.00人				
	7)技術員の数	0.00人				
R04003	主任技師					
		1.000	人	64,800	64,800	
R04004	技師 (A)					
		1.500	人	57,000	85,500	
R04005	技師 (B)					
		2.000	人	47,200	94,400	
R04006	技師 (C)					
		2.000	人	38,400	76,800	
	合 計				321,500	算出数量 1,000 式
	単 価		式		321,500	

事業名	西国東海岸保全事業
業務名	河川堤他実施設計業務

コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	*** S単- 4号 ***					
S63003	2-3. 沈下特性の計算		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	2.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	4.00人				
	5)技師Bの人数	5.00人				
	6)技師Cの人数	5.00人				
	7)技術員の数	0.00人				
R04003	主任技師	2.000	人	64,800	129,600	
R04004	技師 (A)	4.000	人	57,000	228,000	
R04005	技師 (B)	5.000	人	47,200	236,000	
R04006	技師 (C)	5.000	人	38,400	192,000	
	合 計				785,600	算出数量 1.000 式
	単 価		式		785,600	
	*** S単- 5号 ***					
S63003	2-4. 堤防の安定性照査		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	3.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	7.00人				
	5)技師Bの人数	12.00人				
	6)技師Cの人数	13.00人				
	7)技術員の数	13.00人				
R04003	主任技師	3.000	人	64,800	194,400	
R04004	技師 (A)	7.000	人	57,000	399,000	
R04005	技師 (B)	12.000	人	47,200	566,400	
R04006	技師 (C)	13.000	人	38,400	499,200	
R04007	技術員	13.000	人	33,600	436,800	
	合 計				2,095,800	算出数量 1.000 式
	単 価		式		2,095,800	
	*** S単- 6号 ***					
S63003	2-5. 堤防施工断面の決定		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	1.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	1.00人				
	5)技師Bの人数	2.00人				
	6)技師Cの人数	2.00人				
	7)技術員の数	0.00人				
R04003	主任技師	1.000	人	64,800	64,800	
R04004	技師 (A)	1.000	人	57,000	57,000	
R04005	技師 (B)	2.000	人	47,200	94,400	
R04006	技師 (C)	2.000	人	38,400	76,800	
	合 計				293,000	算出数量 1.000 式
	単 価		式		293,000	

事業名	西国東海岸保全事業
業務名	河川堤他実施設計業務

コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	*** S単－ 7号 ***					
S63003	2-6. 附帯工の検討		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長的人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	1.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	3.00人				
	5)技師Bの人数	3.00人				
	6)技師Cの人数	5.00人				
	7)技術員の人数	5.00人				
R04003	主任技師					
		1.000	人	64,800	64,800	
R04004	技師 (A)					
		3.000	人	57,000	171,000	
R04005	技師 (B)					
		3.000	人	47,200	141,600	
R04006	技師 (C)					
		5.000	人	38,400	192,000	
R04007	技術員					
		5.000	人	33,600	168,000	
	合 計				737,400	算出数量 1.000 式
	単 価		式		737,400	
	*** S単－ 8号 ***					
S63003	3-1. 動的有効応力解析		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長的人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	6.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	20.00人				
	5)技師Bの人数	50.00人				
	6)技師Cの人数	50.00人				
	7)技術員の人数	20.00人				
R04003	主任技師					
		6.000	人	64,800	388,800	
R04004	技師 (A)					
		20.000	人	57,000	1,140,000	
R04005	技師 (B)					
		50.000	人	47,200	2,360,000	
R04006	技師 (C)					
		50.000	人	38,400	1,920,000	
R04007	技術員					
		20.000	人	33,600	672,000	
	合 計				6,480,800	算出数量 1.000 式
	単 価		式		6,480,800	
	*** S単－ 9号 ***					
S63003	3-2. 耐震性能の評価		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長的人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	1.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	2.00人				
	5)技師Bの人数	2.00人				
	6)技師Cの人数	2.00人				
	7)技術員の人数	2.00人				
R04003	主任技師					
		1.000	人	64,800	64,800	
R04004	技師 (A)					
		2.000	人	57,000	114,000	
R04005	技師 (B)					
		2.000	人	47,200	94,400	
R04006	技師 (C)					
		2.000	人	38,400	76,800	
R04007	技術員					
		2.000	人	33,600	67,200	
	合 計				417,200	算出数量 1.000 式

事業名	西国東海岸保全事業
業務名	河川堤他実施設計業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	単 価		式		417,200	
	*** S単ー 10号 ***					
S63003	4-1. 設計図作成		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	2.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	8.00人				
	5)技師Bの人数	8.00人				
	6)技師Cの人数	8.00人				
	7)技術員の人数	8.00人				
R04003	主任技師					
		2.000	人	64,800	129,600	
R04004	技師 (A)					
		8.000	人	57,000	456,000	
R04005	技師 (B)					
		8.000	人	47,200	377,600	
R04006	技師 (C)					
		8.000	人	38,400	307,200	
R04007	技術員					
		8.000	人	33,600	268,800	
	合 計				1,539,200	算出数量 1,000 式
	単 価		式		1,539,200	
	*** S単ー 11号 ***					
S63003	4-2. 数量計算		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	2.00人				
	5)技師Bの人数	2.00人				
	6)技師Cの人数	8.00人				
	7)技術員の人数	10.00人				
R04004	技師 (A)					
		2.000	人	57,000	114,000	
R04005	技師 (B)					
		2.000	人	47,200	94,400	
R04006	技師 (C)					
		8.000	人	38,400	307,200	
R04007	技術員					
		10.000	人	33,600	336,000	
	合 計				851,600	算出数量 1,000 式
	単 価		式		851,600	
	*** S単ー 12号 ***					
S63003	4-3. 施工計画の作成		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	4.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	8.00人				
	5)技師Bの人数	8.00人				
	6)技師Cの人数	8.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師					
		4.000	人	64,800	259,200	
R04004	技師 (A)					
		8.000	人	57,000	456,000	
R04005	技師 (B)					
		8.000	人	47,200	377,600	
R04006	技師 (C)					
		8.000	人	38,400	307,200	
	合 計				1,400,000	算出数量 1,000 式

事業名	西国東海岸保全事業
業務名	河川堤他実施設計業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	単 価		式		1,400,000	
	*** S単ー 13号 ***					
S63003	4-4. 概算工事費の算出		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	2.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	4.00人				
	5)技師Bの人数	4.00人				
	6)技師Cの人数	4.00人				
	7)技術員の人数	4.00人				
R04003	主任技師					
		2.000	人	64,800	129,600	
R04004	技師 (A)					
		4.000	人	57,000	228,000	
R04005	技師 (B)					
		4.000	人	47,200	188,800	
R04006	技師 (C)					
		4.000	人	38,400	153,600	
R04007	技術員					
		4.000	人	33,600	134,400	
	合 計				834,400	算出数量 1,000 式
	単 価		式		834,400	
	*** S単ー 14号 ***					
S63003	直轄海岸保全施設検討委員会資料の作成		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	1.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	3.00人				
	5)技師Bの人数	3.00人				
	6)技師Cの人数	4.00人				
	7)技術員の人数	4.00人				
R04003	主任技師					
		1.000	人	64,800	64,800	
R04004	技師 (A)					
		3.000	人	57,000	171,000	
R04005	技師 (B)					
		3.000	人	47,200	141,600	
R04006	技師 (C)					
		4.000	人	38,400	153,600	
R04007	技術員					
		4.000	人	33,600	134,400	
	合 計				665,400	算出数量 1,000 式
	単 価		式		665,400	
	*** S単ー 15号 ***					
S63003	照査		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	2.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	0.00人				
	5)技師Bの人数	0.00人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師					
		2.000	人	64,800	129,600	
	合 計				129,600	算出数量 1,000 式
	単 価		式		129,600	

事業名	西国東海岸保全事業
業務名	河川堤他実施設計業務

コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	*** S 単一 16号 ***					
S63003	点検取りまとめ		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	1.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	2.00人				
	5)技師Bの人数	2.00人				
	6)技師Cの人数	4.00人				
	7)技術員の人数	5.00人				
R04003	主任技師					
		1.000	人	64,800	64,800	
R04004	技師 (A)					
		2.000	人	57,000	114,000	
R04005	技師 (B)					
		2.000	人	47,200	94,400	
R04006	技師 (C)					
		4.000	人	38,400	153,600	
R04007	技術員					
		5.000	人	33,600	168,000	
	合 計				594,800	算出数量 1.000 式
	単 価		式		594,800	
	*** S 単一 17号 ***					
S63003	設計労務(直接人件費内業)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	0.00人				
	5)技師Bの人数	0.00人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の人数	0.50人				
R04007	技術員					
		0.500	人	33,600	16,800	
	合 計				16,800	算出数量 1.000 式
	単 価		式		16,800	
	*** S 単一 18号 ***					
S63007	1-1. 現地調査		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費外業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	1.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	1.00人				
	5)技師Bの人数	1.00人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師 外業					
		1.000	人	64,800	64,800	
R04004	技師 (A) 外業					
		1.000	人	57,000	57,000	
R04005	技師 (B) 外業					
		1.000	人	47,200	47,200	
	合 計				169,000	算出数量 1.000 式
	単 価		式		169,000	
	*** S 単一 19号 ***					
S63007	設計労務(直接人件費外業)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費外業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	

事業名	西国東海岸保全事業
業務名	河川堤他実施設計業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	3)主任技師の人数	0.50人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	0.50人				
	5)技師Bの人数	0.50人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師					
	外業	0.500	人	64,800	32,400	
R04004	技師 (A)					
	外業	0.500	人	57,000	28,500	
R04005	技師 (B)					
	外業	0.500	人	47,200	23,600	
	合 計				84,500	算出数量 1.000 式
	単 価		式		84,500	
	*** S単一 20号 ***					
S63010	打合せ (設計業務基準日額)		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	打合せ (設計業務基準日額)			時間的制約:なし	制約作業時間:0.0	
	一般工種, 着手前・最終, 1.00人, 1.00人, 0.00人, 0.00人, 0.5日, 0.5			夜間制約作業時間:0.0	冬期補正:なし	
	日			豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
				基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	1)設計工種	一般工種		深夜時間:0.0		
	2)打合せ	着手前・最終				
	3)設計用主任技師人数	1.00人				
	4)設計用技師(A)人数	1.00人				
	5)設計用技師(B)人数	0.00人				
	6)設計用技師(C)人数	0.00人				
	7)打合せ日数	0.500日				
	8)往復移動日数	0.500日				
R04003	主任技師					
		1.000	人	64,800	64,800	
R04004	技師 (A)					
		1.000	人	57,000	57,000	
	合 計				121,800	算出数量 1.000 回
	単 価		回		121,800	
	*** S単一 21号 ***					
S63010	打合せ (設計業務基準日額)		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	打合せ (設計業務基準日額)			時間的制約:なし	制約作業時間:0.0	
	一般工種, 中間, 0.00人, 1.00人, 1.00人, 0.00人, 0.5日, 0.5日			夜間制約作業時間:0.0	冬期補正:なし	
	1)設計工種	一般工種		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)打合せ	中間		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)設計用主任技師人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)設計用技師(A)人数	1.00人				
	5)設計用技師(B)人数	1.00人				
	6)設計用技師(C)人数	0.00人				
	7)打合せ日数	0.500日				
	8)往復移動日数	0.500日				
R04004	技師 (A)					
		1.000	人	57,000	57,000	
R04005	技師 (B)					
		1.000	人	47,200	47,200	
	合 計				104,200	算出数量 1.000 回
	単 価		回		104,200	
	*** S単一 22号 ***					
S63011	打合せ (設計旅費・交通費)		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	打合せ (設計旅費・交通費)			時間的制約:なし	制約作業時間:0.0	
	一般工種, 着手前・最終, 通勤により打合せ,,, ライトバン, 1日, 4時			夜間制約作業時間:0.0	冬期補正:なし	
	間, 100km≤L (100km以上)			豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
				基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	1)設計工種	一般工種		深夜時間:0.0		
	2)打合せ内容	着手前・最終				
	3)主任技師配置人員	1人				
	4)技師A配置人員	1人				
	5)技師B配置人員	0人				
	6)技師C配置人員	0人				
	7)打合せ日数	0.50日				
	8)往復移動日数	0.50日				
	9)宿泊区分	通勤により打合せ				
	12)交通機関区分	ライトバン				

事業名	西国東海岸保全事業
業務名	河川堤他実施設計業務

コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	13) 高速道路往復料金 (税別)	7,290円				
	14) 鉄道往復1人当料金 (税別)	0円				
	15) バス往復1人当料金 (税別)	0円				
	16) 船舶往復1人当料金 (税別)	0円				
	17) 航空往復1人当料金 (税別)	0円				
	18) ライトバン使用日数	1日				
	19) 時間区分	4時間				
	20) 往復移動距離区分	100km ≤ L (100km以上)				
P54301	高速道路等料金					
	消費税抜き	1.000	式	7,290	7,290	
M28121	ライトバン[オプショナルエンジン・二輪駆動]					
	乗車定員5名 排気量1.5L	1.000	日	1,960	1,960	
P34001	ガソリン					
	J I S 2号 レギュラースタンド	10.800	L	163	1,760	
	合 計				11,010	算出数量 1.000 回
	単 価		回		11,010	
	*** S単一 23号 ***					
S63011	打合せ (設計旅費・交通費)		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	打合せ (設計旅費・交通費)			時間的制約: なし	制約作業時間: 0.0	
	一般工種, 中間, 通勤により打合せ,,, ライトバン, 1日, 4時間, 100km			夜間制約作業時間: 0.0	冬期補正: なし	
	≤ L (100km以上)			豪雪補正: なし	亜熱帯補正: なし	
				基本給時間: 8.0	超勤時間: 0.0	
	1) 設計工種	一般工種		深夜時間: 0.0		
	2) 打合せ内容	中間				
	3) 主任技師配置人員	0人				
	4) 技師A配置人員	1人				
	5) 技師B配置人員	1人				
	6) 技師C配置人員	0人				
	7) 打合せ日数	0.50日				
	8) 往復移動日数	0.50日				
	9) 宿泊区分	通勤により打合せ				
	12) 交通機関区分	ライトバン				
	13) 高速道路往復料金 (税別)	7,290円				
	14) 鉄道往復1人当料金 (税別)	0円				
	15) バス往復1人当料金 (税別)	0円				
	16) 船舶往復1人当料金 (税別)	0円				
	17) 航空往復1人当料金 (税別)	0円				
	18) ライトバン使用日数	1日				
	19) 時間区分	4時間				
	20) 往復移動距離区分	100km ≤ L (100km以上)				
P54301	高速道路等料金					
	消費税抜き	1.000	式	7,290	7,290	
M28121	ライトバン[オプショナルエンジン・二輪駆動]					
	乗車定員5名 排気量1.5L	1.000	日	1,960	1,960	
P34001	ガソリン					
	J I S 2号 レギュラースタンド	10.800	L	163	1,760	
	合 計				11,010	算出数量 1.000 回
	単 価		回		11,010	
	*** S単一 24号 ***					
S63017	旅費交通費 (設計外業宿泊用)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	旅費交通費 (設計外業宿泊用)			時間的制約: なし	制約作業時間: 0.0	
	乙地, ライトバン, 0.50日, 2日, 2時間, なし, 100km ≤ L (100km以上)			夜間制約作業時間: 0.0	冬期補正: なし	
	1) 宿泊地	乙地		豪雪補正: なし	亜熱帯補正: なし	
	2) 交通機関区分	ライトバン		基本給時間: 8.0	超勤時間: 0.0	
	3) 高速道路往復料金 (税別)	7,290円		深夜時間: 0.0		
	4) 鉄道往復料金[全員分合算] (税別)	0円				
	5) バス往復料金[全員分合算] (税別)	0円				
	6) 船舶往復料金[全員分合算] (税別)	0円				
	7) 航空往復料金[全員分合算] (税別)	0円				
	8) 往復移動日数	0.50日				
	9) ライトバン使用日数	2日				
	10) 時間区分	2時間				
	11) 補正区分	なし				
	12) 技師長外業日数	0.000日				
	13) 主任技師外業日数	1.000日				
	14) 技師A外業日数	1.000日				
	15) 技師B外業日数	1.000日				
	16) 技師C外業日数	0.000日				
	17) 技術員外業日数	0.000日				
	18) 往復移動距離区分	100km ≤ L (100km以上)				
P54202	設計用主任技師日当					
	消費税抜き	2.000	人	1,182	2,364	
P54203	設計用技師 (A) 日当					
	消費税抜き	2.000	人	1,000	2,000	

九州農政局

令和 6 年度西国東海岸保全事業
河川堤他実施設計業務

特別仕様書

九州農政局 西国東海岸保全事業所

第1章 総則

(適用範囲)

第1-1条 令和6年度西国東海岸保全事業 河川堤他実施設計業務の施行にあたっては、農林水産省農村振興局制定「設計業務共通仕様書」(以下「共通仕様書」という。)によるほか、同仕様書に対する特記及び追加事項は、この特別仕様書によるものとする。

(目的)

第1-2条 本業務は、西国東海岸保全事業の一環として建設される第1・2・3工区の河川堤防の実施設計を行うものである。

(場所)

第1-3条 業務位置は、大分県豊後高田市呉崎及び西真玉地内で別添位置図に示すとおりである。

(土地への立ち入り等)

第1-4条 作業実施のための土地への立ち入り等は、共通仕様書第1-16条によるが、発注者の許可なく土地の踏み荒らし、立木伐採等を行った場合に対する補償は、受注者の責任において処理するものとする。

(一般事項)

第1-5条 業務請負契約書及び共通仕様書に示す以外の一般事項は、次のとおりである。

1. 作業実施順序、方法等は監督職員と密接な連絡を取り、作業の円滑な進捗を図るものとする。
2. 作業に従事する技術者は、対象業務に十分な知識と経験を有した者とする。
3. 受注者は常に業務内容を把握し、業務実施期間中に監督職員が資料の提出を求めた場合は速やかにこれに応じるものとする。

(管理技術者)

第1-6条 管理技術者は、共通仕様書第1-6条第3項によるものとし、農業土木技術管理士以外の資格に係る業務に該当する技術部門・選択科目は次のとおりである。

資格	技術部門	選択科目
技術士	総合技術監理	農業－農業土木 農業－農業農村工学
	農業	農業土木 農業農村工学
シビルコンサルティングマネージャー	農業土木	
博士	当該業務に該当する学術部門	

(照査技術者)

第1-7条 1. 照査技術者は、共通仕様書第1-7条第2項によるものとし、農業土木技術管理士以外の資格に係る業務に該当する技術部門・選択科目は次のとおりである。

資格	技術部門	選択科目
技術士	総合技術監理	農業－農業土木 農業－農業農村工学
	農業	農業土木 農業農村工学

資格	技術部門	選択科目
シビルコンサルティングマネージャー	農業土木	
博士	当該業務に該当する学術部門	

2. 共通仕様書第1－7条第4項でいう、監督職員が指示する業務の節目とは、次のとおりとする。また、照査の実施により作成した成果は共通仕様書第1－7条第5項に規定する照査報告書として業務報告書に含めて提出するものとする。

- (1) 業務計画作成時
- (2) 設計計画の検討時
- (3) 耐震性能照査の検討時
- (4) 設計図作成時
- (5) 報告書原稿作成時
- (6) その他、照査計画作成時において監督職員が指示した場合

3. 当該業務の中で照査技術者は、管理技術者を兼務することはできない。

(担当技術者)

第1－8条 担当技術者は、共通仕様書第1－8条によるものとする。

(配置技術者の確認)

第1－9条 共通仕様書第1－11条における業務組織計画の作成及び共通仕様書第1－12条に基づく技術者情報の登録にあたっては、次によるものとする。

1. 受注者は、業務計画書の業務組織計画に配置技術者の所属・役職及び担当する分担業務を明確に記載するものとする。なお、変更業務計画書において、業務組織計画を変更する際も同様とする。
2. 農業農村整備事業測量調査設計業務実績情報サービスへの技術者情報の登録は、業務計画書の業務組織計画において位置付けられた技術者を登録対象とし、事前に監督職員の承認を得るものとする。

(保険加入)

第1－10条 受注者は、共通仕様書第1－37条に示されている保険に加入している旨を業務計画書に明示しなければならない。また、監督職員からの請求があった場合は、保険加入を証明する書類を提示しなければならない。

第2章 作業条件

(参考図書)

第2－1条 設計作業の参考にする図書は、共通仕様書第2－1条によるほか次表によるものとする。

番号	図書名	発行所	制定(改訂)年月
1	海岸保全施設の技術上の基準・同解説	全国農地海岸保全協会他	平成30年8月
2	海岸施設設計便覧	(一社)土木学会	平成12年11月
3	河川堤防の液状化対策の手引き	(国研)土木研究所	平成28年3月

(貸与資料)

第2-2条 貸与資料は、次表のとおりである。

分類	貸与資料名	数量
設計	平成31年度西国東海岸保全事業 第3工区堤防実施設計 報告書	1部
	令和元年度西国東海岸保全事業 第3工区堤防実施設計(その2)業務 報告書	1部
	令和2年度西国東海岸保全事業 第2工区堤防実施設計業務 報告書	1部
	令和3年度西国東海岸保全事業 第1工区堤防実施設計他業務 報告書	1部
	令和4年度西国東海岸保全事業 堤防設計とりまとめ他業務 報告書	1部
	令和5年度西国東海岸保全事業 第1工区堤防実施設計(その2)他業務 報告書	1部
	令和5年度西国東海岸保全事業 第2工区堤防実施設計(その2)他業務 報告書	1部
測量	平成30年度西国東海岸保全事業 堤防測量業務 報告書	1部
調査	平成30年度西国東海岸保全事業 地質調査(その1)業務 報告書	1部
	平成30年度西国東海岸保全事業 地質調査(その2)業務 報告書	1部
	平成30年度西国東海岸保全事業 地質調査業務 報告書	1部
その他	その他業務実施上、監督職員が必要と認める資料	1式

(参考図書及び貸与資料の取扱い)

第2-3条 第2-1条、第2-2条に示す参考図書及び貸与資料の取扱いは、次のとおりとする。

1. 参考図書及び貸与資料の記載事項に相互に矛盾がある場合、又は解釈に疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。
2. 参考図書は、設計作業時点の最新版を用い設計作業中に改訂された場合には、監督職員と協議するものとする。
3. 貸与資料は、原則として初回打合せ時に一括貸与するものとし、監督職員の請求があった場合の他、完了検査時に一括返納しなければならない。

第3章 作業内容

(作業項目及び数量)

第3-1条 本業務における作業項目及び数量は、次表のとおりである。

なお、詳細は、別紙1【作業項目内訳表】に示すものとする。

作業項目	数量	備考
1. 準備作業	1式	
2. 設計計画	1式	
3. 耐震性能照査	1式	
4. 設計図作成等	1式	

作 業 項 目	数 量	備考
５．直轄海岸保全施設検討委員会資料の作成	１式	
６．照査	１式	
７．点検とりまとめ	１式	

(作業の留意点)

第３－２条 設計作業の実施に際し特に留意する点は、次のとおりである。

- １．設計にあたっては、造成される施設が必要な機能及び安全で所要の耐久性を有するとともに、維持管理、施工性及び経済性について考慮しなければならない。
 - ２．電算機を使用する場合は、計算手法及びアウトプット等の様式について事前に監督職員の承諾を得るものとする。
 - ３．第２－１条、第２－２条及び共通仕様書に示す参考図書、貸与資料や受注者が有する資料等を参考にした場合は、その出典を明示するものとする。
 - ４．施工上特に注意する点を特記する必要がある場合には、設計図面に記入するものとする。
 - ５．当該業務で実施するコスト縮減対策の検討作業に関し、検討の視点、施策の提案内容及び比較検討の過程や結果等の成果については、報告書中に「コスト縮減対策」の章を別途設定し、取りまとめるものとする。なお、コスト縮減に関する新技術や新工法等の選定にあたっては、農業農村整備民間技術情報データベース（NNTD）及び新技術情報システム（NETIS）等を積極的に活用しなければならない。
- ・農業農村整備民間技術情報データベース（NNTD）は、
http://www.nn-techinfo.jp/mdb_web/MdbTop.do を参照。
 - ・新技術情報システム（NETIS）は、
<http://www.netis.mlit.go.jp/NetisRev/NewIndex.asp> を参照。

(業務の成果品質確保対策)

第３－３条 業務着手時等において、受発注者間の設計方針、条件等の確認の場として、次の会議を設置するので、管理技術者等の受注者代表は、次の事項並びに「業務の成果品質確保対策」（農水省WEBサイト）を十分に理解の上、対応するものとする。

１．業務確認会議

業務着手時に、管理技術者・担当技術者並びに事業所長、主任監督員（主催）、監督員、工事担当者が、設計方針、条件等の確認を一堂に会して実施することにより、業務の円滑な推進と成果物の品質確保を図るものとする。

- (１) 業務確認会議とは、発注者及び受注者が集まり、次の事項について確認を行う会議である。なお、確認事項については変更する場合がある。
 - ①設計条件、前提条件
 - ②業務計画の妥当性
 - ③スケジュール
 - ④設計変更内容
 - ⑤その他
- (２) 会議の開催については、監督職員が指示するものとする。なお、開催時期の変更、開催回数の追加が必要な場合は、監督職員と協議するものとし、規定の打合せ時以外に開催する場合の費用については、必要に応じ設計変更で計上する。

2. 照査の確実な実施

業務の最終打合せ時において、成果物のうち照査報告書については、照査を実施した照査技術者自身による報告を原則とする。

また、最終打合せ時以外であっても、必要に応じて、照査技術者自身からの照査報告を実施できるものとする。

3. 当該業務成果による工事発注の際に、別途工事の受発注者が当該工事に対する「工事の施工効率向上対策」（農水省WEBサイト）による工事円滑化会議及び設計変更確認会議を開催することとしており、同会議に出席要請があった場合には応じるものとする。なお、出席に必要な経費については、別途契約により対応することとする。

4. 業務確認会議において確認した事項については、業務打合せ記録簿に記録し、相互に確認するものとする。

（業務写真における黒板情報の電子化）

第3－4条 黒板情報の電子化は、被写体画像の撮影と同時に業務写真における黒板の記載情報の電子的記入を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化を図るものである。

受注者は、業務契約後に監督職員の承諾を得たうえで黒板情報の電子化を行うことができる。黒板情報の電子化を行う場合、受注者は、以下の1から4によりこれを実施するものとする。

1. 使用する機器・ソフトウェア

受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器・ソフトウェア等（以下、「機器等」という。）は、電子的記入ができるもので、かつ「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト（CRYPTREC暗号リスト）」（URL「<https://www.cryptrec.go.jp/list.html>」）に記載する基準を用いた信憑性確認機能（改ざん検知機能）を有するものを使用するものとする。

2. 機器等の導入

- （1）黒板情報の電子化に必要な機器等は、受注者が準備するものとする。
- （2）受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器等を選定し、監督職員の承諾を得なければならない。

3. 黒板情報の電子的記入に関する取扱い

- （1）受注者は、1の機器等を用いて業務写真を撮影する場合は、被写体と黒板情報を電子画像として同時に記録してもよいこととする。
- （2）本業務の業務写真の取扱いは、「電子化写真データの作成要領（案）」によるものとする。

なお、上記（1）に示す黒板情報の電子的記入については、「電子化写真データの作成要領（案）6 写真編集等」に示す「写真編集」には該当しないものとする。

- （3）黒板情報の電子化を適用する場合は、従来型の黒板を写し込んだ写真を撮影する必要はない。

4. 写真の納品

受注者は、3に示す黒板情報の電子化を行った写真を、業務完了時に発注者へ納品するものとする。

なお、受注者は納品時にURL(<http://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index.html>)のチェックシステム（信憑性チェックツール）又はチェックシステム（信憑性チェックツール）を搭載した写真管理ソフトウェアを用いて、黒板情報を電子化した写真の信憑性確認を行い、その結果を監督職員へ提出するもの

とする。

- ５．費用機器等の導入に要する費用は、従来の黒板に代わるものであり、間接調査費に含まれる。

第４章 打合せ

（打合せ）

第４－１条 共通仕様書第１－１０条に基づく打合せについては、主として次の段階で行うものとする。また、初回及び最終回の打合せには管理技術者が出席するものとする。

初 回 業務着手の段階

第２回 中間打合せ（堤防の安定性照査結果整理段階）

第３回 中間打合せ（付帯工の検討結果整理段階）

第４回 中間打合せ（設計図作成段階）

最終回 報告書原稿作成段階

なお、業務を適正かつ円滑に実施するために、受注者の業務担当は、打合せ記録簿を作成し、上記の打合せの都度、内容について、監督職員と相互に確認するものとする。

第５章 成果物

（成果物の提出）

第５－１条 成果物を共通仕様書第１－１７条に基づき作成し、次のものを提出しなければならない。

- １．成果物の電子媒体（CD-R等） 正副２部
- ２．成果物の出力 １部（電子媒体の出力、市販のファイル綴じで可）

（開示用成果物の作成及び提出）

第５－２条 第５－１条に記載している成果物（PDFファイル）に含まれる、「行政機関の保有する情報の公開に関する法律」における「不開示情報」に該当する情報について、システムの編集機能により、その箇所を黒塗りにする措置を行い提出しなければならない。

- １．開示用成果物の電子媒体（CD-R等） １部

なお、「不開示情報」とは下表のとおりである。

不開示とする情報	該 当 項 目	該当条項
個人に関する情報 及び法人その他団体に関する情報	記述等により特定の個人を識別することができる情報 ・受注者氏名 ・個人、会社の印影 ・実施設計に必要な各種調査結果に記載された調査員等の氏名 ・打ち合わせ議事録等の発注者以外の氏名及び組織名 ・図面等に記載された地番、所有者等の氏名、住所等 ・顔写真 ・技術提案等の当該法人の知的財産に関する情報 ・概算金額算出のための材料単価等見積もり業者名 ・ＩＰアドレス等機器の接続情報 ・その他（公にすることにより個人、会社の権利利益を害する恐れのある情報）	行政機関の保有する情報の公開に関する法律 第５条第一号及び第二号イ

(成果物の提出先)

第5-3条 成果物の提出先は、次のとおりとする。
大分県豊後高田市中真玉 2144 番地 12
九州農政局西国東海岸保全事業所

第6章 契約変更

(契約変更)

第6-1条 業務請負契約書第17条から第20条に規定する発注者と受注者による協議事項は、次のとおりとする。

1. 第3-1条に示す「作業項目及び数量」に変更が生じた場合
2. 第4-1条に示す「打合せ」に変更が生じた場合
3. 第5章に示す「成果物」に変更が生じた場合
4. 履行期間に変更が生じた場合
5. 関係機関等対外的協議により業務計画等に変更が生じた場合
6. その他

第7章 定めなき事項

(定めなき事項)

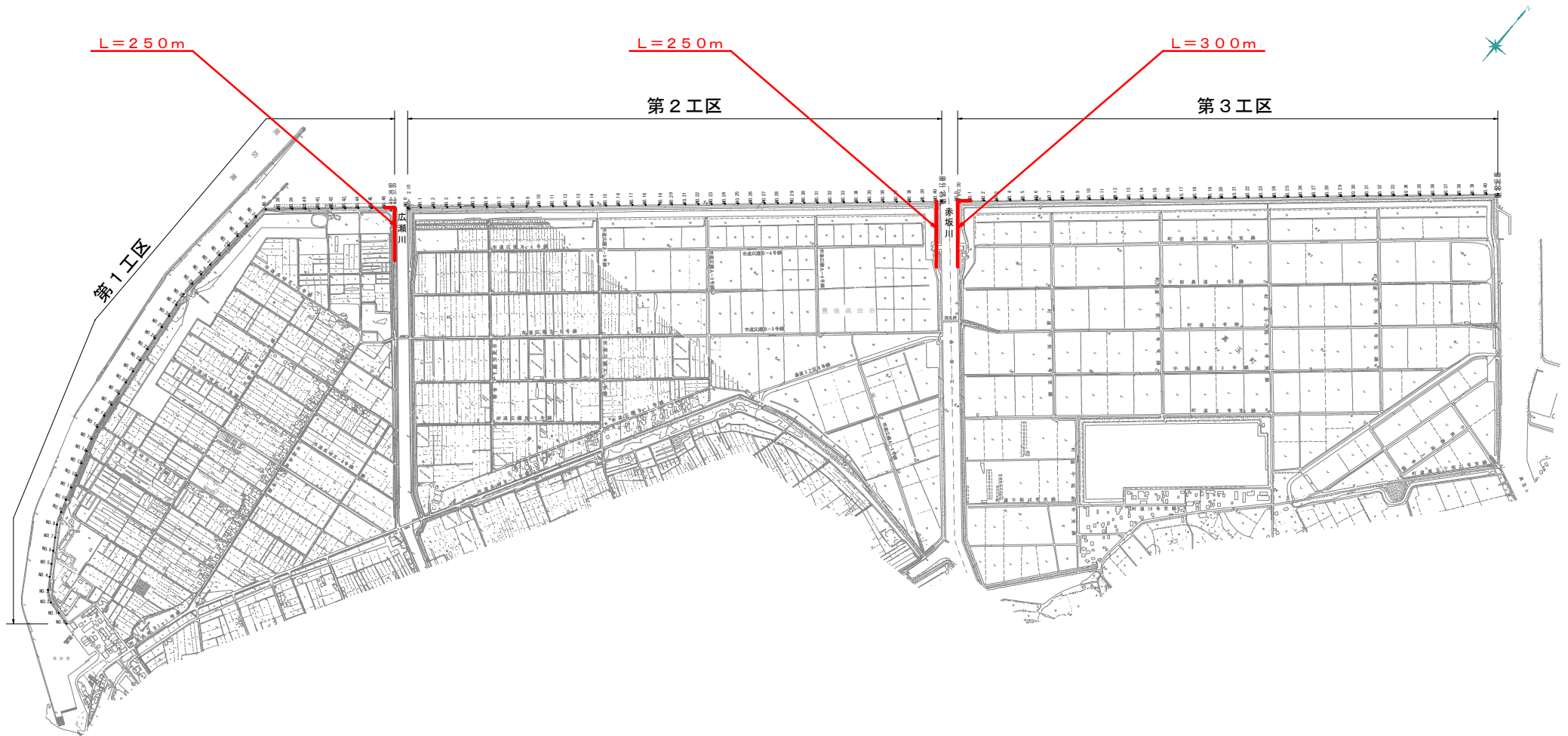
第7-1条 この特別仕様書に定めなき事項、又はこの業務の実施にあたり疑義が生じた場合は、必要に応じて監督職員と協議するものとする。

【作業項目内訳表】

作業項目	作業内容	備考
設計作業		
1. 準備作業		
1-1. 現地調査	設計に必要な現況堤防、周辺の地形、地質及び関連する諸施設の現地調査を行う。	
1-2. 資料の検討	設計に必要な資料収集及び貸与資料の内容を整理・把握し、作業計画を確立する。	
2. 設計計画		
2-1. 基本条件の整理・検討	第1工区と第2工区との間の広瀬川、第2工区と第3工区との間の赤坂川に進入する波浪諸元を検討・設定する。また、貸与資料等から各河川堤防の計画基礎諸元（気象、海象、地盤条件（土質定数）、現地堤防横断、河川整備計画等）を整理する。	
2-2. 検討代表断面の設定	上記の2-1から検討代表断面（各工区河川堤防の計3断面）を選定し、計画基本断面（計画堤防高等）を設定する。これらの検討結果から、施工断面の検討に必要な基本条件の検討を行う。	
2-3. 沈下特性の計算	各工区河川堤防の計3断面について、新規盛土荷重による沈下量及び沈下速度（圧密）並びに増加強度の計算を「①パラベット天端」、「②堤防天端道路部」、「③堤防小段道路部」、「④堤防のり尻部」の4箇所／1断面で実施する。	
2-4. 堤防の安定性照査	各工区河川堤防の計3断面について、安定性照査（常時、L1地震時の慣性力及び液状化時）を行い、対策工法の検討を行い、堤防補強計画断面（以下、計画断面）を策定する。	
2-5. 堤防施工断面の決定	上記の2-2、2-3、2-4の検討結果等に基づき、堤防施工断面を決定する。	
2-6. 附帯工の検討	波返工及び被覆工の詳細検討を行う。なお、波返工については、過年度実施した機能診断調査の結果を踏まえた検討を行うものとする。	
3. 耐震性能照査		
3-1. 動的有効応力解析	各工区河川堤防の計3断面について、計画断面（レベル1、2地震動の耐震対策工断面）の基礎地盤及び堤体の解析モデルを作成する。作成した解析モデル及び過年度業務で設定した地震波（周防灘断層帯主部）を用いて、地震波入力層（ $V_s \geq 600\text{m/s}$ ）における「入力地震波形」及び「基礎地盤並びに堤体盛土におけるパラメータ」を設定し、計画断面での動的有効応力解析（レベル2地震動）を行う。併せて、解析結果の考察も行う。	
3-2. 耐震性能の評価	上記3-1の解析結果により、解析後の堤防高を算定し、安定性を評価する。	
4. 設計図作成等		
4-1. 設計図作成	本業務で検討した各工区河川堤防の計3断面の検討結果に基づき、堤防補強区間（測線）を設定し、工事（海側・陸側の耐震対策工、堤防補強基本断面に基づく波返工及び被覆工等）に必要な設計図面の作成を行う。	
4-2. 数量計算	各工区河川堤防区間の工事（海側・陸側の耐震対策工、波返工及び被覆工等）に必要な数量計算を行う。	
4-3. 施工計画の作成	工事実施に必要な施工計画の作成を行う。	
4-4. 概算工事費の算出	概算工事費の算出を行う。	
5. 直轄海岸保全施設検討委員会資料の作成	各工区河川堤防の計3断面の土質定数等の設定及び耐震検討結果を整理し、別途開催される直轄海岸保全施設検討委員会及び同幹事会へ諮るための資料作成を行う。	
6. 照査	照査計画に基づき、業務の節目ごとに照査を実施し、照査報告書の作成を行う。	
7. 点検取りまとめ	各作業項目の成果物の点検、取りまとめ及び報告書の作成を行う。	

(別添)

令和6年度西国東海岸保全事業 河川堤他実施設計業務 位置図



※旧2・3号樋門、機場部は検討の対象外とする。